

令和3年度全国学力学習状況調査 結果概要

〈島本町立第二中学校〉

R3年度 調査結果（平均正答率％）

	二 中	全 国	大 阪
国語	65.0 (101)	64.6	62.0
数学	62.0 (108)	57.2	56.0

※（ ）の数字は全国平均値を100としてみた場合の本校のポイント

1 今年度の特徴的な傾向

国語では、平均正答率で全国平均をわずかながら上回った。

特に「話すこと・聞くこと」の領域においては良好な結果であった。

数学では、全ての領域、観点について、正答率が全国平均を5ポイント程度上回っている。特に「数と式」、「図形」の領域で良好な結果が見られた。

国語・数学とも全体的に無解答率が全国平均に比べ非常に低い。

2 結果を基にした今後の対策

国語：今後「読むこと」や「書くこと」の領域についてさらに力をつけるために、読解や要約の際に、文章の細部の表現まで読み込む機会を増やしたり、タブレット等を活用しながら慣用句などの活用方法や語彙力を高める取組を進める。

数学：基礎知識としての計算や図形の問題は、定着のために繰り返しドリルとしておこなうと同時に「関数」や「資料の活用」の分野で若干の弱みが見られることから、表やグラフを的確にとらえ、数学的表現を用いて説明する機会を授業の中で多く取り扱っていく。

全体として、子どもたちが主体的・対話的な学びを深める授業改善やタブレットを用いた自学自習力を付けるための具体的な取組をさらに充実させていく。